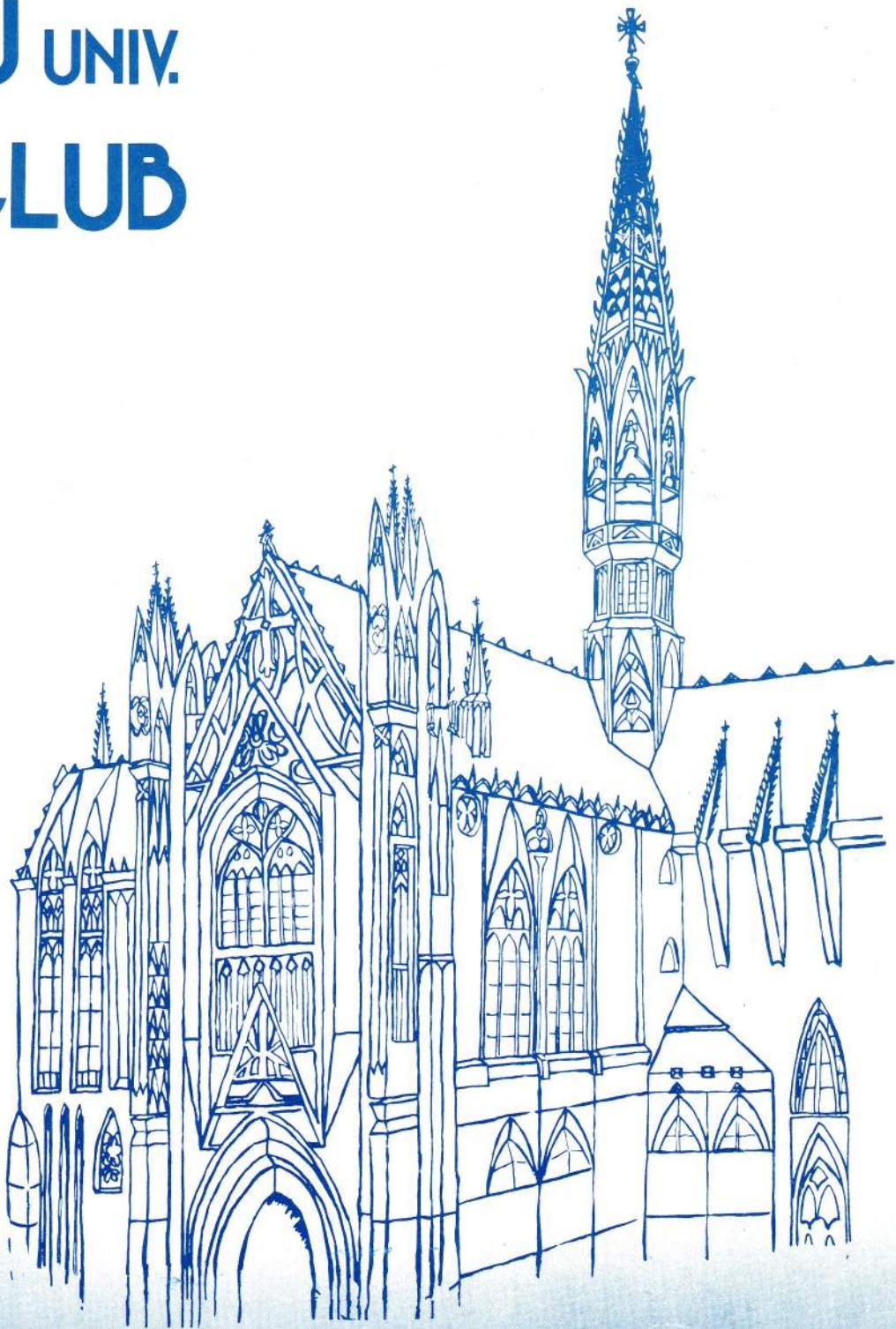
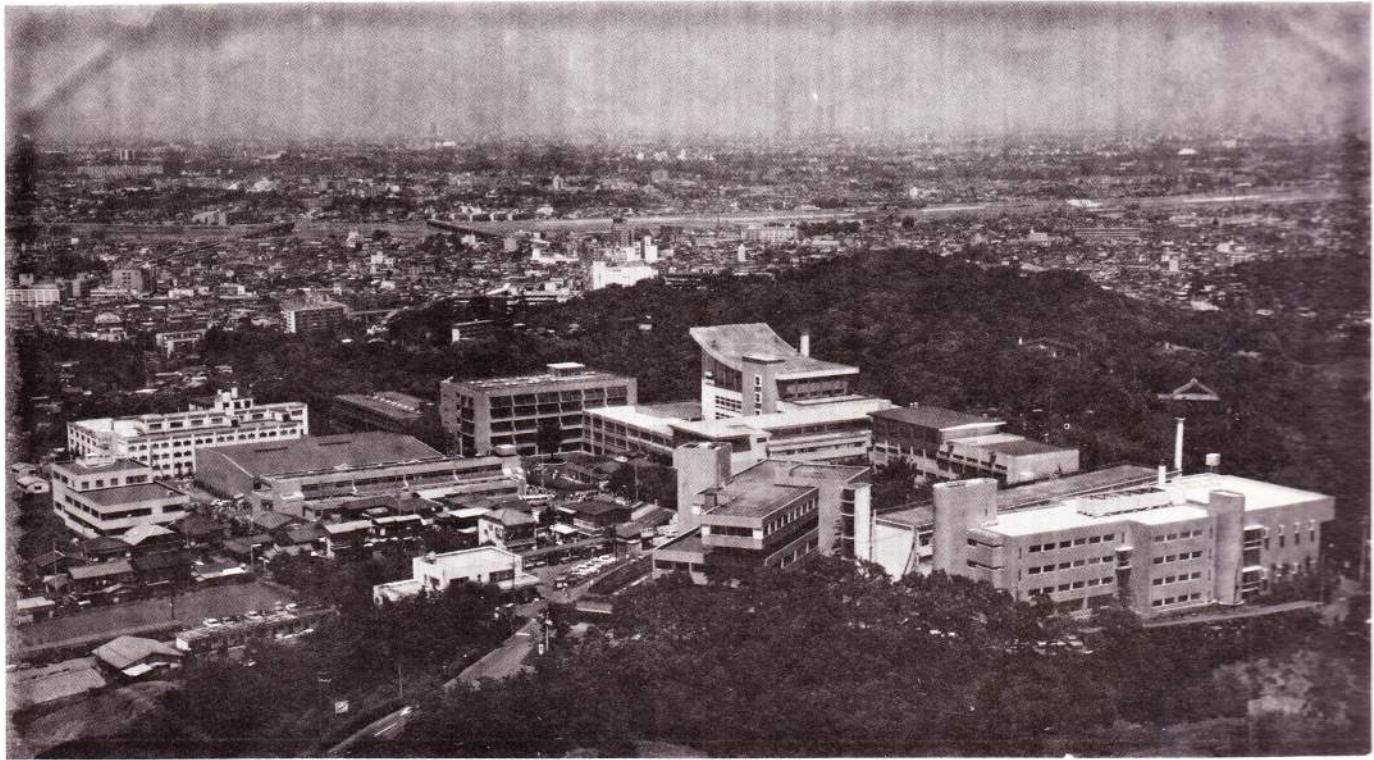


SENSHU UNIV. GLEE CLUB



16th REGULAR CONCERT

専修大学グリークラブ 1980/11/22



専修大学・生田校舎

寄修大學子校稿

作詞高稿居之
作曲信時深

一 宮城の北 破壊同様に立ちて
東宮へおまへ我等が大学
清志の道 こゝに子び
経緯の筆 こゝに完じ

二 風の翼

一風の翼
西牛に底キ
せに舞けり 我身が大學
明健の意を氣す 力行の勇よ
学徒後輩ナ 希望に生きて
常久の富 くじく崩し
限りなく幸 くじに葉ふも

我等が行く道 窓石を考
我等が行く所へ 之に就けり

第16回定期演奏会

日本教育会館大ホール



第15回定期演奏会（於：日本教育会館）

御 挨 捶

本日は、御多忙の折、私達専修大学グリークラブの定期演奏会に御来場下さいまして、誠にありがとうございます。

五無主義が氾濫し、ともすれば無味乾燥になりがちな学生生活の中で、私達は、自己の存在価値をこのグリークラブに見いだし、エネルギーを完全燃焼させ続けてまいりました。

合唱経験もない音楽的に素人の者がほとんどですが、「音楽は喜びである。合唱は人生である。」という信念は、伝統の中で脈々と生き続けております。

昨年、専修大学は100周年を迎え、また私達のクラブも創立17年を数えたわけですが、それらをひとつの区切りとしてさらに前進をはかるという意味で、来年、欧州演奏旅行に出発することになりました。今宵のステージは、来年へ向けての布石になれば…と思っております。

まだまだ未熟な私達ですが、今後共より一層の御指導、御鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます

部員一同

Message



専修大学学長・経済学博士

高橋 長太郎

定期演奏会は、日頃勉学にいそしむかたわら、課外活動として寸暇を惜しんで積み重ねた努力の成果を広く市民の方々にご披露し、きたんのないご忠言をいただくとともに、皆様との交歓の場としようとするものです。

グリークラブは、共通の趣味である音楽を通じて、団体生活の中で、人間性の高揚と社会性の訓練を目的として活動しております。

専修大学は本年開学百周年を迎えた。これを機として、専修人一同総力を結集して、教育・研究機関としての一層の充実に邁進いたしております。

本日は、会場の皆様と共に、旋律を通じて“和”的すばらしさ、尊さを味わうことができますれば、望外の喜びであります。



宮城学院長・専修大学グリークラブ名誉顧問

早坂 禮吾

専大グリークラブの定期演奏会がやってくると、これで1年のけじめがついたような気がするのがここ10余年の慣習になっていた。それを今、遠く離れた仙台で、改めて感ずるのは一寸不思議な気がする。

グリーメンはこの夏、大挙して仙台にやってきて合宿練習をした。どうでも私に聞かせようということらしい。合宿を解散する時、私の大学のバスで青葉城を案内して、土井晩翠の詩碑の前で思いついて「荒城の月」を合唱した。私は歌に合せて手を振ったのだが、一見指揮者に見えたのであろう。とりまく群衆から拍手と感謝の言葉をあびた。美しいものは美しいものを生み出すものだ。

今年の定期演奏には、もしかしたら仙台弁のナマリがはいるかも知れないと心配している。



専修大学経済学部教授・グリークラブ顧問

鶴田 俊正

私がグリークラブの顧問になってから2度目の演奏会である。昨年、私はこの欄でこう書いた。「専修大学グリークラブは16年の歴史をもっているけれど、毎年毎年人は去り、当然、音も表現の仕方も違ってくる。だけど、16年前のグリーメンと今のグリーメンは何かの糸でつながっている。伝統を尊びながら、今年の若者はそこに何をつけ加えるかを、皆さんと一緒に見守りたい」と。

17年目の今年は鎮魂曲をうたうという。鎮魂曲はキリスト教の死者の靈を鎮めるための式典の音楽である。死をいたむ沈痛な気持の中にも神の栄光をほめたたえる魂の叫びがあり、死者に永遠の安息を与えるよう願う偉大な壯送の歌である。決してじめじめしたものではない。「日本教」のグリーメンが、このキリスト教の精神をどの程度理解し、人々に透き切った魂のやすらぎの世界をどこまで伝えることができるであろうか。私も聴衆の皆様と共に見守ってゆきたい。



専修大学グリークラブOB会名誉会長

肥田英臣

グリークラブの定期演奏会のたびに、今年はどんな演奏を聞かせてくれるものかと、楽しみにして足を運ぶ。

全国各地で活躍している200余名のOB諸氏も、本日の定期演奏会を心待ちにしている事と思います。昨年デビューしたOBのステージを本日も予定していますが、果たして何名がステージに立ってくれるのかいささか心配でもある。しかし卒業して合唱から遠ざかっていても、当日集まると過ぎ去った年を忘れ、すぐにグリー時代に戻り、蛮声を張り上げ、ハーモニーを作り上げてしまう。伝統の持つフシギさであろうか。今宵はそのチームワークの良さを誇り、往年のハーモニーを披露できるものと思います。どうぞご期待下さい。

いよいよオモシロク

専修大学グリークラブ常任指揮者 岡本仁

きょ年のグリー・コンサートの最大の収穫はOBチームの誕生であったように思う。現役時代の集中的な訓練から解放され、ひとりひとりに散ってしまった連中だ、さぞかし力も後退して…、と案じたものだったが、実際には、まことに男くさい、そして現役をはるかにしのぐ上等な音楽を歌い上げてくれた。

あたかも、ワインが年月を経て熟成して行くがごとく、彼等の心に歌が宿り、成長していくのだ、ということを思い識らされた。

今年は、新たに4年生(OB予備役)も仲間に加えて更に充実したプログラムと演奏が期待される。伴奏者も元グリービアニストが甦がえって色をそえるときく。

専大グリーもいよいよ面白くなってきた。趣きが出てきた。生れて17年余、そろそろ高校を卒業するセガレを見るおもいである。

専修大学グリークラブ常任指揮者

押塚登貴夫

秋は、世の中の全てのものが充実し、豊かさを誇る時、専修大学グリークラブも、気力、テクニック、声、チームワーク、すべて今が1年のうちで最も充実している。競走馬がダービーを目指して調教をつむように、ボクサーがタイトルマッチ目標にトレーニングを続けるように、グリーメンもこの1年間、今日の日を、より感動的に、人生のよき思い出の1ページになるよう努力を重ねてきた。

慣れないラテン語のミサ、ドイツ語うたう学生歌、外国語というハンディキャップを見事乗り越えてここまでやって来た彼らに心からなる拍手を送りたい。

とは云え、限られた練習時間の中では、まだまだ完璧とはいえないが、その分彼らの情熱でカバーしてくれることを期待している。

グリーメンならやってくれる!! グリーメンならできると!!



Program

専修大学校歌

高野辰之 作詞・信時 漢 作曲・岡本 仁 編曲

I. MESSE SOLENNELE

1. Kyrie
2. Gloria
3. Credo
4. Sanctus
5. O Salutaris
6. Agnus Dei
7. Domine Salvum
8. Pie Jesu

Albert Duhaupas作曲

Intermission

II. ソロと一緒に

バリトン独唱 渡辺 多津彦

1. 春の子
2. 夏の子
3. 秋の子

サトウ・ハチロー作詞・末広恭雄 作曲・押塙登貴夫 編曲

III. ドイツ学生歌

伴奏編曲 岡本 仁

1. Bundeslied 作者不明 ● Wolfgang Amadeus Mozart 作曲
2. Drei Reiter am Tore 民謡
3. Ade zur guten Nacht 民謡
4. Heidenröslein J.W. Goethe 作詞 ● Heinrich Werner 作曲
5. Der Lindenbaum Wilhelm Müller 作詞 ● Franz Schubert 作曲

IV. OBステージ

1. 狩 の 歌 東 辰三 作詞 ● L.O. Emerson 作曲
2. 狩人の合唱 F. Kind 原詞 ● 三浦和夫 訳詞 ● C.M. von Weder 作曲

V. ? 私は ? 誰でしよう ? 小山章三 作曲

VI. OBと共に

1. ハレルヤサム (詩編 150) 津川主一 訳詞 ● Cesar Franck 作曲 ● 津川主一 編曲
2. 新しき歌を工ホバに向いて唱え (詩編98) 作者不明 ● 平田 浦 編曲
3. 拳 骨 節 熊本県俚謡より 藤井清水採譜編曲
4. 婆やのお家 林 柳波 作詞 ● 本居長世 作曲 ● 福永陽一郎編曲

エール専修

秋久重剛 作詞 ● 片山正見 作曲 ● 岡本 仁 編曲

こんやの曲をめぐって

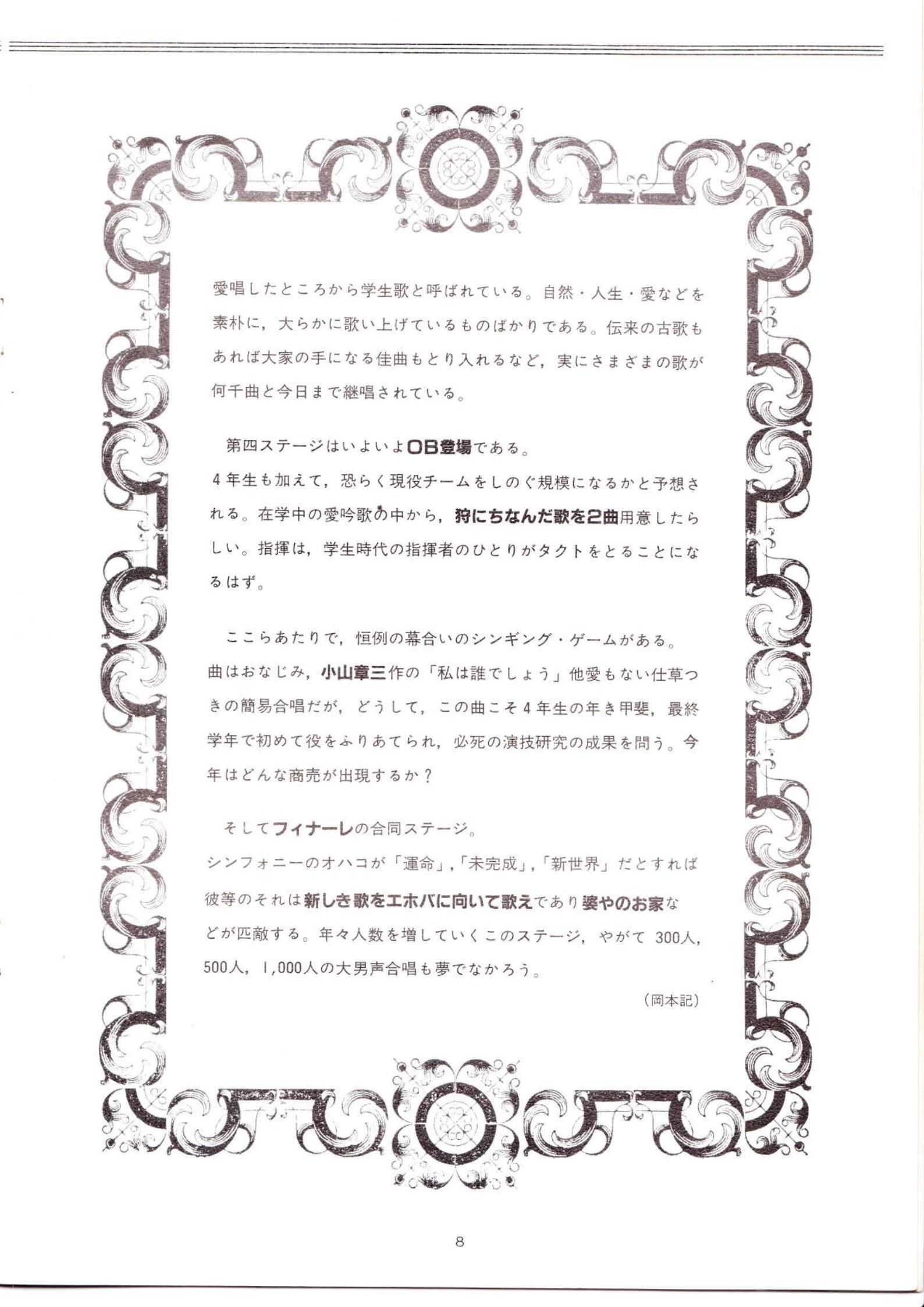
新団員を迎えた4月、グリークラブの第一声は毎年校歌に始まる。

高野辰之の詩、**信時潔**の曲は、おそらく当時のぞみ得る第一級の顔ぶれであり、専修大学建学の意気込みがうかがえる。莊重にして典雅、幕開けにふさわしい身のひきしまる瞬間であるにちがいない。

第一ステージは、**アルベール・デュオーパ**の莊厳ミサ曲。グノー、サンサースなどの大家たちもすすんで力をかしたフランス19世紀のアマチュア合唱運動を**オルフェオン**とよぶ。デュオーパのこの曲もオルフェオンの大会のために作曲されたという。かって、シューベルトのドイツミサ、ケルビーニのレクイム、復活祭のグレゴリオ聖歌、それにハレルヤサームなどの聖歌にとり組み歌ってきたが、これらはグリーメンにとっては、きわめがたい山の頂であり、何度挑んでも力及ばないものもある。今回は、**押塚氏**のきびしい指導のもとに勉強を積んできたが、その成果やいかん。

第二ステージは、**サトウハチロー**、**末広恭雄**のコンビによる3つの小品で、編曲はいずれも押塚氏。作曲の末広さんは、人も知るお魚の博士、傍ら作曲もよくする。グリー、ヴォイストレーナーの**渡辺氏**の独唱付で歌うメルヘンの世界。

第三ステージは、**ドイツ学生歌**を5曲。いわゆるドイツ民謡であるが、13世紀頃からヨーロッパ諸国を放浪遍歴するドイツ学生達の



愛唱したところから学生歌と呼ばれている。自然・人生・愛などを素朴に、大らかに歌い上げているものばかりである。伝来の古歌もあれば大家の手になる佳曲もとり入れるなど、実にさまざまの歌が何千曲と今日まで継唱されている。

第四ステージはいよいよOB登場である。

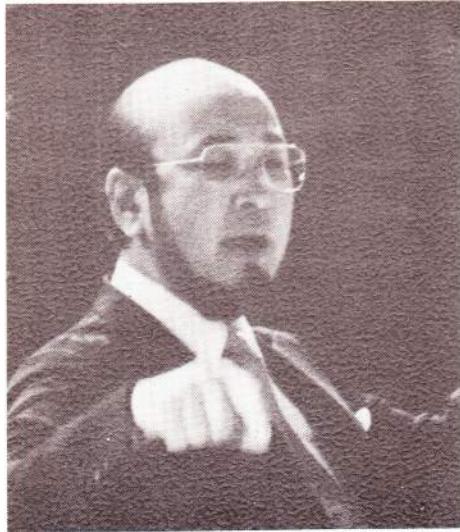
4年生も加えて、恐らく現役チームをしのぐ規模になるかと予想される。在学中の愛吟歌の中から、**特にちなんだ歌を2曲用意**したらしい。指揮は、学生時代の指揮者のひとりがタクトをとることになるはず。

ここらあたりで、恒例の幕合いのシンギング・ゲームがある。曲はおなじみ、**小山章三**作の「私は誰でしょう」他愛もない仕草つきの簡易合唱だが、どうして、この曲こそ4年生の年き甲斐、最終学年で初めて役をふりあてられ、必死の演技研究の成果を問う。今年はどんな商売が出現するか？

そしてフィナーレの合同ステージ。

シンフォニーのオハコが「運命」、「未完成」、「新世界」だとすれば彼等のそれは**新しき歌をエホバに向いて歌え**であり婆やのお家などが匹敵する。年々人数を増していくこのステージ、やがて300人、500人、1,000人の大男声合唱も夢でなかろう。

(岡本記)



常任指揮者 岡本仁

昭和34年国立音楽大学教育音楽科卒業。同36年作曲科修了。教育法を岡本敏明、作曲法を中村太郎、指揮法を甲斐正雄の各氏に師事。

卒業後、群馬交響楽団の指揮者として修業、後東京交響楽団を指揮してデビュー。N響定期などで合唱指揮者として高い評価を受けられている。横浜生まれで小さいころからベートーヴェンやチャイコフ斯基、ラベル等のS Pレコードと波の音を耳にして育ったそうである。現在、母校の国立音楽大学の講師であられる他、声楽科学生による“くにたちカンマーコール”的指揮者として20年もの間、5000回を越える国内演奏旅行をなさり、また一方ではオペラ、ミュージカルの研究にロンドン、ウィーン、ローマと忙しい日々を送られている。先生はアマチュア育成に力を入れられており青少年向きのコンサートを中心に「歌うよろこび」というものを大切になさっている。

我がクラブでは昭和39年8月以来御指導をお願いしているのですが、我々とも年齢が離れるばかりで、「おやじさん」という域に入ったのではという我々の見方を尻目に、愛用のアメ車やナナハンを駆って練習場に現れる先生を見て「なんてスケールの大きなN O W イ先生だろう」と驚かされる一面もある若さいっぱいの先生です。



常任指揮者 押塚登貴夫

昭和40年国立音楽大学教育音楽科卒業。音楽理論、作曲法、指揮法などを岡本敏明、小山章三、岡本仁の諸氏に学ぶ。

現在、日本レクリエーション協会において、社会教育分野での音楽指導に、その持ち前のあふれんばかりのバイタリティで、全国津々浦々を所狭しとばかりに駆け廻られている。我等、専大グリーには、卒業後の昭和40年4月より、ずっと御指導をお願いしており岡本仁先生との絶妙のコンビネーションで、第1回演奏会からタクトを振っていただきており、我々を今日の地位にえ上げて下さっている。

又氏は、酒とお新香をこよなく愛される先生で、部員と一緒に酒を飲まれるときには、それはもう楽しい話が次から次へと飛び出して来ます。特に、学生時代に、クラブのバンドでピアノを弾いておられたときのハプニングなどには、部員たちは思わず爆笑でした。そうです、先生は我々専大グリーメンにとって、本当に気さくな、きどらない、いつまでたっても兄貴のような存在なのです。



ヴォイストレーナー 渡辺 多津彦

国立音楽大学声楽科卒業。同専攻科修了。波多野靖祐、矢田部勤吉、大熊文子の各氏に師事し、在学中、同大公演オペラ「魔笛」などに出演。現在東京歌劇場同人として活躍されているほか、母校で教鞭をとられている。昭和51年8月にヴォイストレーナーをお願いしておりもう5年になる。

練習では、情熱的に、きめ細かく、そして厳しさをもって御指導くださる中で、見たからにやさしそうな表情は、我々が安心して声が出来るように導いてくださいます。また、冗談などを交えて部員の爆笑を誘い出し、練習を盛り上げてくださることもしばしばです。家庭に帰ってもやはり、なごやかなファミリーのやさしいパパという感じです。

今宵の「子供の歌」では、そんな先生のやさしさが、つやのある美しい声によって場内をあたたかく包み込むことでしょう。



ピアニスト 沼沢 広子

国立音楽大学教育音楽科卒業。ピアノを藤原弘江氏、その他を岡本仁氏に学ぶ。卒業式の翌日より我々のグリークラブの専任ピアニストとして迎える。

部員の中には、ピアノの弾ける女性と一緒にになって、歌を歌いたいと願う者も多いとか。したがって先生は、我々にとっては憧れの女性の1人なのです。まさしく『砂漠の中のオアシス』とは先生のためにあるのではないでしょうか。また先生はピアノだけではなく、運動神経の方もすばらしいものを持っておられます。特に今年の合宿中のソフトボールやバレー、ボールでの活躍ぶりには部員も驚かされるばかりです。家庭的な先生は、料理の方もたいへんお上手で、部員の中にはそれを目当てに先生のお家にお邪魔する者もいるようです。

先生の小柄な体から湧き出る力のあるピアノタッチと、快いピアノのメロディーは今宵も皆様を魅了する事でしょう。



学生指揮者

宮崎祥治

山口県立山口高等学校卒業。

現在専修大学経営学部経営学科3年在学中。

メガネの奥に光り輝く柔軟なまなざし。しかし、ひとたび練習に向かう彼の眼光は、あたかも譜面のオタマジャクシをカエルにしてしまうかのように、部員の心に眠っている音楽性を呼び起こすのです。メルヘンとポエムの世界に浸りきっている彼は、自らを『さだまさし』と称しているところからくるように、合唱においての表現に繊細さを持ち合わせているかと思えば、また小柄で重心の低い安定性のある体をフルに使い、部員の発する蛮声を巧みに操り、エネルギーの空気を築き上げていきます。

サテサテ、今夜のステージでは、彼がいかなる一面を表わして、雄叫ぶグリーメンを手なづけることでしょうか。

Part & Members

TOP TENOR



島津洋一
(法2・群馬・高崎高)

池田広実
(経1・福島・兵庫津名高)

高橋浩司
(法1・栃木・茂木高)

井坂智之
(経1・茨城・緑岡高)

丸林 稔
(商3・三重・宇治山田高)

清水 滋
(商3・福島・貝宿原高)

荻原育男
(商3・栃木・大田原高)

本多栄一
(法3・東京・小山台高)

金井克之
(法4・東京・専大松戸高)

鈴木 修
(経4・栃木・氏家高)

小林美彦
(経4・三重・海星高)

小池喜一郎
(商3・長野・長野吉田高)

SECOND TENOR



小島伸一
(管2・大阪・雲雀丘学園高)

羽毛田一弘 浅島敬晴 山口英久 板垣浩一
(経2・千葉・四街道高) (経1・埼玉・市立川口高) (管1・兵庫・神奈川山手学院) (商2・新潟・三条東高)

伊能亘 高橋勝己
(経2・群馬・前橋南高) (商2・千葉・市立銚子高)

鈴木兵雄 吉岡恵一
(商3・福島・田村高) (法2・埼玉・蕨高)

黒木繁秀 平井修
(商4・長崎・諫早高) (経4・島根・出雲高)

関 総一 池田英治
(文4・神奈川・県立川崎高) (経3・鳥取・米子北高)

秋も深まつた夜の下北沢でトップの3つの条件について意見交換がおこなわれ、その結果「顔のハイレベルとボイスと座高の高さ」と決定しました。ステージ向って左手をご覧になれば、知的に輝く顔、高く透きとおったボイス、安定した下半身を持ち見事3条件をかなえた面面が皆様に微笑んでいることでしょう。

スポーツマンぞろいの12名ですが、その条件を生かしてやはりボーリングが得意。秋の大会では3年生のM氏の優勝を筆頭に上位10位に5人を送り込んだのでした。パート別アベレージが100そこそこの某パートや、3ゲームがやっとの者が続出のご老体パートなどを完全に引き離し、今さらながらトップには何をやっても勝てないと、他パートに思わしめたのです。

個性、頭髪なんでも豊かですがやはり誇れるのは音楽性。「ミサ」のときには敬虔なキリスト教徒になり、「ドイツ民謡」では遠くモーツアルト、シューベルトに想いをはせ、「子供の歌」では悪がキだった童心に帰り、各学年一体となって力強く、また繊細に歌いあげます。そのトップテナーの各ステージごとの変身ぶりとメンタル(心の)ハーモニーを大切にした歌声は、きっと皆様を魅きつけて離さないでしょう。

定演の帰り道、一人一人が「来年もまた聞きに来たいなぁ」と思われんことを祈って……。(S)

皆様、今宵はぜひ中央左手一帯を御注目下さい。そうです。そこに今、ピカピカに光っている男たち、『華のセカンド13人衆』がいるのです。

かん高い声を張上げるトップと壊れたスピーカーの様な響きしか出せぬベース系が人間らしく、暖かな声に聞こえるというのもひとえにこのセカンドがあるからなのです。そして、この最も難しいとされているパートを、個々の卓越した感覚と個性と知性、そしてその抜群のチームワークによってこなしているのです。そればかりではありません。コンバにおいては他のパートの者を尻目に両手に花、芸においてもその個性を常にいかんなく発揮し、練習においても他のパートより1歩も2歩もぬきんでているその姿は正にグリーの最先端を行くと言ってよいでしょう。「セカンドを語らずして専大グリーは語れない!!」という言葉もうなづけるというものです。およおや、まだ信用されてない方がいるようですね。とにかく論より証拠、本日の演奏会をごゆっくりと鑑賞して下さい。個性豊かな1人1人の声が、見事なチームワークを作っているのを聴かれた瞬間、皆様は納得されることでしょう。

合わせて、私達専修大学グリークラブの迫力と繊細さを兼ね備えた合唱も皆様の心の中に自然と溶け込み、そして静かな感動を呼びおこすこと思います。ではごゆっくりとお楽しみ下さい。(I)

BARITONE



日野 智道 西口 守 山口 好春
(文4・熊本・専大玉名高) (法4・東京・明学東村山高) (経3・神奈川・金沢高)

後列

大西祥之 小林正博 山崎剛 桜井亨
(法4・奈良・生駒高) (経4・長野・伊那北高) (法2・東京・専大付属高) (商1・広島・広島県音高)

岡崎全雄 青柳康衛
(第1・和歌山・向陽高) (法1・福島・磐城高)

前列

大慈弥 亨 逸見正興 藤島一宏 宮崎祥治 片野真
(商3・大分・中津北高) (商3・山形・寒河江高) (経3・埼玉・早稲田高) (第3・山口・山口高) (商1・愛知・南山高)

BASS



前原一幸 宮原富士夫 細川亨 和田正樹 有賀剛光
(法1・群馬・桐生高) (商1・埼玉・小鹿野高) (第1・新潟・小千谷高) (法1・三重・津西高) (第1・長野・佐久高)

鈴木康友 浅野満宏 布施淳一
(法2・埼玉・浦和市立高) (経1・新潟・巻高) (第2・山形・寒河江高)

斎藤俊哉 川田邦博 吉田健司 羽鳥美文
(法3・岩手・盛岡三高) (経3・東京・専大松戸高) (第3・宮崎・市ヶ尾高) (経3・群馬・東京農大二高)

越野実 武富均
(第4・東京・西陵高) (法4・千葉・専大松戸高)

松永達生
(経3・東京・静岡学園高)

バリトンは歩む、ただひたすらと。それは単調な道程かもしれない。でもそこまでには茨の道のごとく我々の前に立ちはだかっていたものもあった。P・リーダーの苦難は続いた。音が外れていたらば、「殿中でござる、殿中でござる。」と制しなければいけない。またバリトンが目だつ處では「このバリトンの印籠が目に入らぬか。」と顯示しなくてはいけない。また練習が進まぬときは、「樂をしていては後から来たのに追い越されてしまう。」と反省せねばならない。

けれども実態が旗本退屈男集団だからなあ、おかげで平均年齢も平均体重も他のパートを上回ってしまっている。しかし、かつてはこうではなかった。若さがあったのだ。N君は小金井公園を走り回り、H君は合宿の下見に走り回り、O君は金策に走り回っていた。そうだ僕たちも走り回らなくてはいけない。その努力が効を奏して夏合宿ではなく先生にほめられるまでに成長したのだ。リズム中心で音程に変化がないかもしれない。時折り高い音が、そして低い音がでてくる。勿論、主旋律などたまにしかない。しかし、「ええなあ、あれ。」と他のパートに憧がれてはいられないのだ。自分の道を突き進め!!自分に自信を持てばよいのだ。自分のパートを誇れるようにならなければ。「いいでしょ、これ!! 僕のバリトン。」と行くべきなのだ。今宵も飛び交う寛永通宝、男バリトン何故へ行く。

(F)

ホーホケキョ／狂い鳴き。皆様、右手を御覧下さいませ。右端に見えますのはグリーの中でもひときわ光り輝いている男達でございます。そうです／何を隠そう我々こそ知る人ぞ知らない『アデラント軍団』ベースメンなのです。(なぜかお毛々が淋しい人が多いのです?!あっライトの光が頭にしみる。)

ベースは、トップテノールのようにキンキンとした華やかさこそありませんが、どっしりとした重みと、女性の方を狂わさずにはいられない渡さで他のパートを支えるまさしく『男』を感じさせるパートです。

今年はなんと6人のウゲイス坊やが加わりパワーアップ、毎年悩み続けてきた人数の面でも他のパートに対抗できるようになりました。たびたび、音を下げるとかうなっているだけだとかいうまるでひがみを微塵も感じさせない悪口を言わながらも、ひょうに気にして、『日々是定演』という気持でがんばってきました。とにかく皆一人落ち着いていて、酒を飲んでも何をするかわからないというやさしさを持っています。あまり芸人はいませんがゲイ人はいます。そしてバカボンもあります。東大通もいます。牛もいます。みんなメルヘンとポエムに生きる者ばかりです。

それでは皆様、心ゆくまで低音の魅力にくすぐられてください。

(Y)



入学式校歌指導



新歓コンバ
柏屋にて 地獄のコンバ



合同ハイキング
多摩動物園にて

'79年11月	17日 第15回定期演奏会	日本教育会館
'80年2月	2日 ボーリング大会	
	3日 卒団生追い出しコンバ	紀伊国屋
	4日 卒団生追い出しソフトボール大会	
3月 中旬	学年別合宿	
	25~30日 春期合宿	千葉・九十九里
4月	5日 入学式校歌指導	日本武道館
	9日 学術文化会新歓集会出演	専大・生田校舎
5月	10日 新入生歓迎コンバ	柏屋
	11日 新入生歓迎ソフトボール大会	
	17日 経済学部新歓集会出演	専大・生田校舎
	24日 ボーリング大会	
	25日 武藏野女子大ルンビニ合唱団と 合同ハイキング	多摩動物園
6月	28日 ジョイントコンサート (日本女子経済短大・武藏野女子大)	中央会館
7月	28日 日本レクリエーション協会主催 第11回レクリエーションソングセミナー出演	全国保育会館
8月 下旬	学年別合宿	
9月 7~12日	夏期強化合宿	仙台作並Y M C A
10月	4日 シュワッヂ・ザ・レーション (山手線半周夜歩き)	
	11日 ボーリング大会	
	23日 ソフトボール大会	
	26日 O B 総会	専大・生田校舎
31~		
11月	3日 秋期強化合宿	東京青年文化会館
	8日 日本女子経済短大と合同コンバ (1年生)	
	22日 第16回定期演奏会	日本教育会館



今、ヤング仲間に大好評

どこのパブより安く、ボリュームたっぷり
只今、年末のご予約承り中。

お1人様1,800円より3,000円まで (ボトル・料理・チャージ・ミネラル全て込み)

新宿区新宿 3-34-7

ヒカリ会館B1 355-4245~6

パブ セントラル

春は曙

やうやう白くなり行く頃、グリーメンは飛び起き、新入生勧誘作戦が敢行される。合宿で練った作戦を携えて、女には目もくれず、ひたすら逞しき男たちを求めて乗り出すのである。御馳走して恩を売るという天下の宝刀を行使する者、泣き落しを行使する者と方法は様々。その甲斐あってか、20名近くの新人歌手を獲得し、新しいハーモニーが生田の山に生まれたのである。そして迎える地獄のコンバ。オオカミ達は張切り、ヒヨコ達はおののく。翌朝6時30分から夕刻まで行なわれるソフトボール大会での若さのハンディを埋るべく、新入生を2日酔いに追いやろうとする上級生のたくらみは見え見え。しかしこのような苦境を乗り越え、真グリーメンとなるのである。



ジョイント

練習も軌道に乗り、ジョイント・コンサートに向けて猛練習が始った。初めての試みに、今までとはちょっと違った予感の中で時は過ぎて行く。合同練習などは、日曜日をつぶしたのにもかかわらず、点呼の返事も、歌う声量もUP?とにかく、前期の締めくくりとして1つの基準ともなるこの演奏会を成功させようと、グリーメンも一丸となり、練習にも自然と力が入る。1年生にとっては、これが初めての大きなステージとなる。6月28日、いよいよ緊張もピークに達し、エールで幕が開く。前期の成果ここにありと各人ベストを尽くす。合同ステージ「筑後川」もうまく行き、一応の成功を見た。さあ、いよいよ後期へ向けてのGOサインは出された。

合宿

各学年別に各地で合宿を開いた後、太陽も御顔を見せない曇天の中、杜の都仙台から程遠からぬ、作並YMCAにおいて夏期強化合宿が始まった。1年生は初の試練の合宿に胸をときめかし、起床当番、お茶汲み、飯盛りと随所に活躍を見せる。もちろん早朝マラソンにおいても、下級生の後を上級生が追うというおなじみの絵が描かれる。そしてお楽しみの最後の夜、演芸会とカルテット大会がやって来る。今年は両競技とも高レベルで、特に演芸会において優勝した2年生の「忠臣蔵」は特筆したいぐらいである。こうして迎えた最終日には、前顧問の早坂先生の御招待で仙台観光（青葉城で荒城の月を合唱etc.）をするなど例年ない思い出深い合宿は幕を閉じたのである。

明日に向つ て歩け！

ほんのり秋めいた東京に戻ったグリーメンを待つのは「シュワッヂ」（山手線夜歩き）である。20時に新宿集合、酒で乾盃の後校歌を歌い出発。ガムシャラ組、チンタラ組と様々である。ビルの谷間に我等の歌声が響く。不屈の精神でみごとに約40kmを完歩し定演へという意気込みで「日本の夜明けは近いぞ」と励まし合い歩いたとか。今年は運営の意地か、経験がものを言ったのか、主催の2年生を尻目に3年生団体が一足早くゴール。最終組も朝6時20分にはゴールし無事全員完歩。「ヤッタ！ヤレバできる！」この意気で日々の練習にもいよいよ熱がはいる。一方、パート別、学部別、などのコンバなどにより、一層の団結を計り、いよいよ緊張と不安と期待の定演を迎えるのである。

(F) (M)

ジョイントコンサート
6月28日 中央会館にて合同
ステージ「筑後川」



夏合宿

9月7日~12日 宮城作並YMCA



シュワッヂザレーション
(山手線半周夜歩き)

新宿 - 渋谷 - 目黒 - 芝 - 銀座 - 原宿

- 神田 - 市ヶ谷 - 新宿

漸新な感覚ご満足の値段 音楽会用プログラム



楽譜作り50年の経験
音楽関係印刷物専門

アポロ企画
☎ (03) 716-5071

ポスター
チケット
チラシ

Graduate of Glee

この演奏会を区切りとして、社会に大きく羽ばたこうとされている先輩諸兄、長い間このクラブを守り育ってくれました。アリガトウゴザイマス。なにとぞ実社会に起たれてもあなたの周囲は、いつもあのスバラシイ ハーモニーに醸され、時機至りなば社会のリーダーとして高らかにソロを謳つ下さる先輩であることを期待します。



金井克之（前OBマネージャー）

このメガネの奥にひそむ輝く目・りりしい顔、この先輩こそ我々グリーメンを代表する鬼才。合唱の秀才である。昨年度の運営時代にはOBマネージャーとして働き、初めての試みとしてOBステージを成功させたのも先輩の影の努力でした。



小林美彦（前代表）

義理に厚く、人情にもろい我らが元親分。そのすばらしい統率力・包容力は昨年の運営役員で実証済み。下宿を訪ずれた後輩には必ず酒（特に日本酒）を振まい、部員たちから大いに慕われる。唯一の汚点があるとすれば、日本のチベット“三重”出身というところか。



鈴木修（前副指揮・T1バーリー）

専修大学グリークラブをこよなく愛し続けるグリーメン。練習に対しては厳しいが優れた技術力で、トップテナーいや全パートを引っ張っていかれる。一方後輩の面倒見の良さも抜群、練習が終わると必ず食事に連れて行かれるやさしい先輩。4年間御苦労様でした。



黒木繁秀（前会計）

2年、3年と運営の時は、グリーの大蔵省を務めた方だけに、金銭感覚はかなりのものです。普段は、きどらない、きさくな方ですが、スポーツ万能で、かなりの読書家です。また、独特的の笑い声とバカでかい声で、後輩を圧倒！しかし、歌う時は実にあまい声の持ち主です。



関総一（前涉外マネージャー）

川崎市出身。我グリークラブにおける貴重な文学部員の1人である。中学時代に柔道で鍛えた逆三角形のたくましい体と、クラブ内で5本の指に入る話家であるため、Girl Friendにはことかかないとか……。昨年は書記、去年は涉外を見事にやってのけた天才でもある。



平井修（前涉内・T2バーリー）

今年は4年生でありセカンドの精神面での柱としてその存在は大きい。私生活においてはハイライト（たばこ）サンタナ（音楽）広島東洋カープ（スポーツ）を愛する良き先輩である。また男らしい太い眉毛と胸毛で多くの女性をひきつけていた。どうもお疲れさまでした。



大西祥之（前副代表）

学生ローンに追われることしばしば。周りから見ても、何とも言えぬ哀れな生活をしていたあなたですが、他の人から借金をしてまでも下級生に御馳走してやろうという、そのやさしい思いやりの心。また、あなたには人生について色々と学んだような気がします。



小林正博（前B1バーリー）

わりと背が高くて、わりとハンサムで、とても歌がうまくて、昨年はバリトンのパートリーダーも努めました。長野の山谷を駆け巡って鍛えあげた際立つ美声に、会場にお越しの美女美男(?)を魅了せすにはおかしいことでしよう。



西口守（前涉外マネージャー）

ちょっと（？）太めでユーモアたっぷり。知的で包容力も大きく、何でも相談に乗ってくれ、適切なアドバイスを与えてくれる。クラブにおいての存在感は大きく、皆に好かれている……そんな頼もしくすばらしい先輩。あの豪快な笑い声が聞けなくなるのは淋しい。



日野智道（前書記）

かつての姿は旭国、リクルート姿は高島親方。熊本生まれで、御存じオナカも二重腹。一瞬に生きる男、則ち、一言で、ワン・ポーズでなぜか受ける先輩でした。書記としての御活躍では、我クラブ機関誌合歓の表紙を漢字で飾られたとか。男の涙が、男の笑いが……。



越野実（前学生指揮者）

昨年、学生指揮者を1年間務められた先輩は、とにかく色々な分野をつまみ食いするという行儀のよい雑学青年である。ソフトボール大会において、その知識がボールとなって飛び出し、部員はそれを取ろうとするが、もはや手の届かぬ所へ。結婚ダービーはトップを取れるか？



武富均（前総務）

松戸市出身で、専大松戸高校・専大と専大一直線をつらぬき通してきた先輩。柔和そうな表情からもうかがわれるよう、たいへん人当たりがよく、そのうえ、何事においてもよく気がつき、昨年は総務をりっぱにつとめあげたのでした。



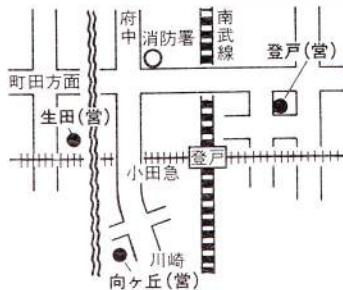
松永達生（前B2バーリー）

バイトでは“ミスター松屋”的異名を取るほど燃えに燃え、私生活ではベースギター一つ弾くなどまさにBassのために生まれてきた様な人です。とにかく何を考えているかわからないような不思議な魅力があります。ひとつとして松永さん、あなたは宇宙人？ほよよ！

スター レット (12 h) 4,500円
サニー (12 h) 7,600円
1tまで (6 h) 5,200円
軽自動車 (1 h) 1,000円

—お申込みは—

向ヶ丘遊園 (922)7881
 代理店喫茶アンブレラ (911)9985
 登 戸 (900)0861
 柿 生 (988)9471
 生 田 (955)7761



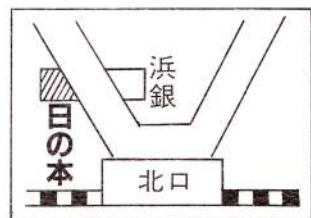
ニッポンレンタカー

—大串焼とり—

居酒や **日の本**

おつまみ 100円より
ボトル 1,000円より.....

向ヶ丘遊園北口
横浜銀行バス前 TEL 911-8163



豚かつ

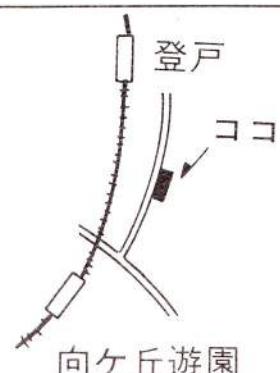
どんぶり

新宿西口会館 3階 ☎ 342-3861・3862

Jeans Shop
Avenue®

年中無休 営業時間 AM10:00～PM8:00

登戸店 川崎市多摩区登戸店 2597 TEL 044-911-9415



1980年度 運営委員

代表	斎藤俊哉	法・3
副代表	丸林 稔	商・3
会計	清水 滋	商・3
涉外	逸見正興	商・3
	本多栄一	法・3
	山口好春	経・3
渉内	荻原育男	商・3
O B	大慈弥亨	商・3
総務	羽鳥美文	経・3
書記	池田英治	経・3
	川田邦博	経・3

1980年度 技術委員

学生指揮者	宮崎祥治	営・3
副指揮者	小池喜一郎	商・3
パート・リーダー		
Top	小池喜一郎	商・3
Second	鈴木兵雄	商・3
Baritone	藤島一宏	経・3
Bass	吉田健司	営・3

編集後記

今年は冷夏に見舞われ軒並農作物は不作でしたが、わがクリークラブに限っては、あらゆる面で近年まれにみる豊作でした。創設以来の試みであったジョイントコンサートを大成功に収めたことも1つの例です。そして絶好調の体制で今夜のステージにのぞむことが出来ました。編集にあたりこの実り多き1年の集大成として、青春の想い出の1ページになるように努めてきました。

最後に寄稿くださいました先生、関係者の皆様方、そして今宵ご来場の皆様方に深く感謝の意を表します。アリガトウゴザイマシタ。



企画編集・丸林 稔・小池喜一郎 美術制作・川田邦博

民芸 陶板 料理
石焼

和丘

小田急線向ヶ丘遊園駅名店デパートダイエー際 ☎ 044-933-6687

コピーサービス
書籍・雑誌・文具

光陽館書店

向ヶ丘・ダイエー3F

☎ 044-922-5391 内線354

4階	貸会議室・宴会場 (4名様~100名様)
3階	高級麻雀 (お一人様1時間100円)
2階	関西割烹山陰 (しゃぶしゃぶ・かに料理)
1階	パチンコ (学用品・書籍・衣類等2,000点以上)
地階	大食堂 (洋食・寿司・天ぷら・コーヒー・生ビール)

アイカエオ 会館
専修大学神田校舎そば
(265) 8901

新宿住友ビル 49 階

あしへぱーく

地上200mの夜景を見ながら、大学生同志の安価な、
コンパ・パーティーを、お楽しみ下さい。
このパンフレット又は当大学の学生証をお持ちく
ださい。特別に御同伴の方もボトルを無料贈呈致
します。期限は無期限です。

PM 5:00-11:00 TEL 344-6888

学生の憩いの場

登戸書店
富士ベーカリー
505
森永食堂
3号館地下

あつきあい
みじかでなが~い



株式会社永井商店 川崎市多摩区生田3329 ☎ (044) 900-2525
生田店・登戸店・中野島店・久地店・野川店・被谷店・石馬店・柳町店
ナガイミート専門店センター 川崎市高津区野川3726 ☎ (044) 751-2111(代)

珈琲館 ◆ 洋菓子

林道

向ヶ丘遊園駅前
(900) 2142

コンパ・御宴会・御商談

永花

向ヶ丘遊園駅北口
☎ 044(911) 3405

有限会社 白井商事

●不動産部

向ヶ丘遊園駅 南口

☎ 911-8095
☎ 922-6488

●喫茶部

美豊里 民家園通り

(不動産部より 4軒目)

☎ 933-0530

割烹・結婚式場

柏屋

向ヶ丘遊園・登戸駅下車
川崎市登戸2466
TEL 044(911) 5420・3191~2

贈りものは会話。



松屋のウインターフィット
1980年11月7日(金)-12月31日(水)

MATSUYA GINZA